

# 大雨災害と防災に関するアンケート

(岩手県住田町)

## 報告書

### 目次

<b>調査の要点</b>	1
1. 調査目的	2
2. 調査手法	3
3. 調査結果	
3. 1 回答者の属性	4
3. 2 居住地の災害リスクに対する認識	5
3. 3 過去の災害に対する認識	7
3. 4 災害に対する備えの実施率	9
3. 5 リアルタイム雨量・水位情報に対する認知と利用	10
3. 6 避難に対する考え方	13

[付属資料]

素集計票／調査依頼書／調査票

2011年8月

静岡大学防災総合センター牛山研究室・

岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター・

同津付ダム建設事務所

## 調査の要点

### 背景・調査手法

- 豪雨災害に対して地域がどのような受け止めかたをしているかについて把握することを目的とし、岩手県住田町内の気仙川周辺地域在住者を対象にアンケート調査を実施。
- 調査票は自治会を通じて配布，郵送で回収。配布は2011年2月で，回収は同3月上旬到着分で締め切った。

### 主な結果とコメント

- 大雨・洪水や，がけ崩れ・土石流に対して，居住地区が危険だと考える回答は約5割。自宅が危険だと考える回答は約3割。ハザードマップ認知率は5割強。
- 昭和20年代，昭和50年代にそれぞれまとまった規模の豪雨災害が発生しているが，記憶している回答者は3割以下。
- 「備え」としては，避難場所の確認，危険箇所の確認などの実施率が高いが，水の備蓄や家具の固定など実施率が低い。
- リアルタイム雨量情報を実際に参照したことがある回答者は約2割。今後の積極的な利用意向を持つ回答者は1割程度。情報源としては，テレビ及び防災無線の利用意向が多い。
- 避難勧告が出たらすぐ避難する回答者は約3割。避難勧告の「空振り容認派」は8割強，避難判断の「行政判断派」は約7割。

## 1. 調査の目的

岩手県南部の気仙川流域では、岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター・津付ダム建設事務所が中心となって、住田町、同町住民らとの協働のもと、気仙川流域における総合的な治水対策が取り組まれている。河川、豪雨に関わる災害時の地域での防災行動を考える上では、豪雨災害に対して地域がどのような受け止めかたをしているかについて把握することが重要である。そこで当研究室では、岩手県、住田町と協力し、住田町内を対象とし、大雨災害に関するアンケート調査を行った。主な内容は以下の通りである。

- A) 大雨に関する情報の利用状況
- B) 大雨などの自然災害に対する危険度認知，知識，備え
- C) 過去の災害に関する記憶

なお本報告書においては、丸め誤差により集計表やグラフに示された比率の合計が 100% とならない場合がある。



### 3. 調査結果

#### 3. 1 回答者の属性

回答者および調査対象自治体全体の性別構成を図1に示す。ここで、人口関係の資料は平成17年国勢調査による。本図に見るように、本調査の回答者は住田町の人口構成と比較し、男性の割合が高くなっている。年代構成を図2に示す。回答者は住田町の年代構成と比較すると、60歳代以上が多くなっている。

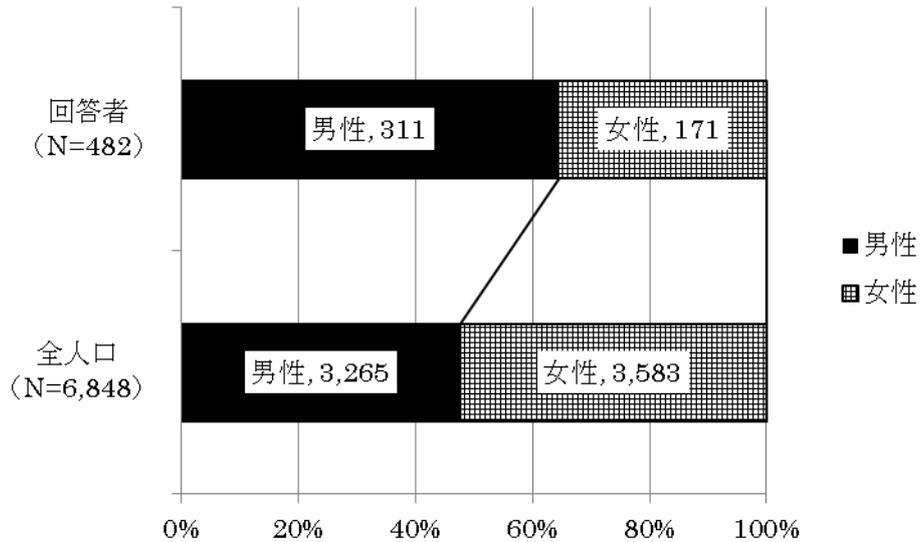


図1 回答者及び住田町における性別構成(数値は実数)

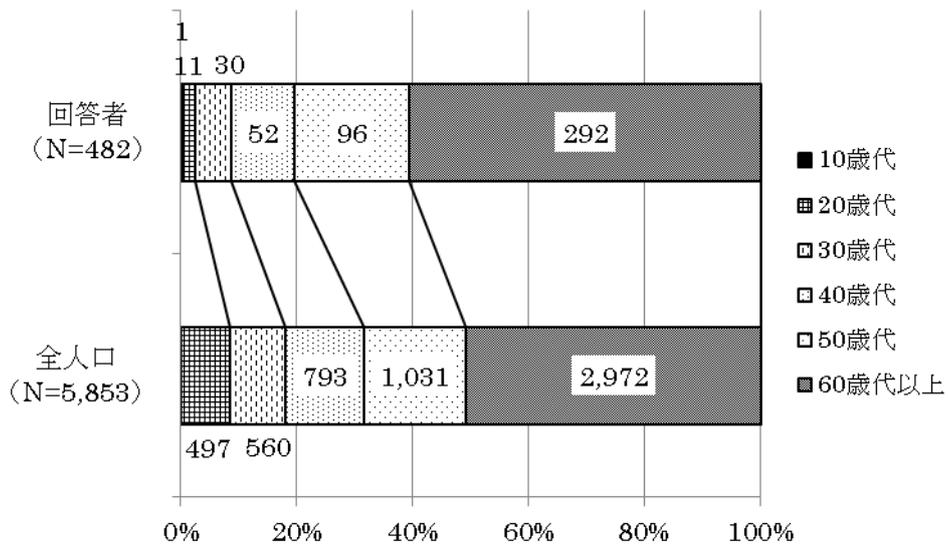


図2 回答者および住田町における年代構成(数値は実数)

### 3. 2 居住地の災害リスクに対する認識

大雨・洪水や、がけ崩れ・土石流に対して、居住地区が危険だと考える回答は約5割。自宅が危険だと考える回答は約3割。ハザードマップ認知率は5割強。

「あなたがお住まいの地区は、「地震」「大雨・洪水」「がけ崩れ・土石流」に対して安全だと思いますか」に対する回答が、図3である。「安全」または「ある程度安全」の回答は、地震については約5割、「大雨・洪水」「がけ崩れ・土石流」については約4割となっている。

「あなたの自宅が、「地震」「大雨・洪水」「がけ崩れ・土石流」の災害に襲われる可能性があると思いますか」に対する回答が、図4である。「可能性は非常に低い」または「可能性は低い」の回答は、「地震」「がけ崩れ・土石流」については約6割、「大雨・洪水」については約7割となっている。

いずれの災害についても、地区全体に比べ自宅の方が被災する可能性が低いとの傾向がみられた。特に、大雨・洪水による被害については、地区のリスクと自宅のリスクのかい離が大きく、地域は危険だが自宅は安全との傾向が顕著となった。

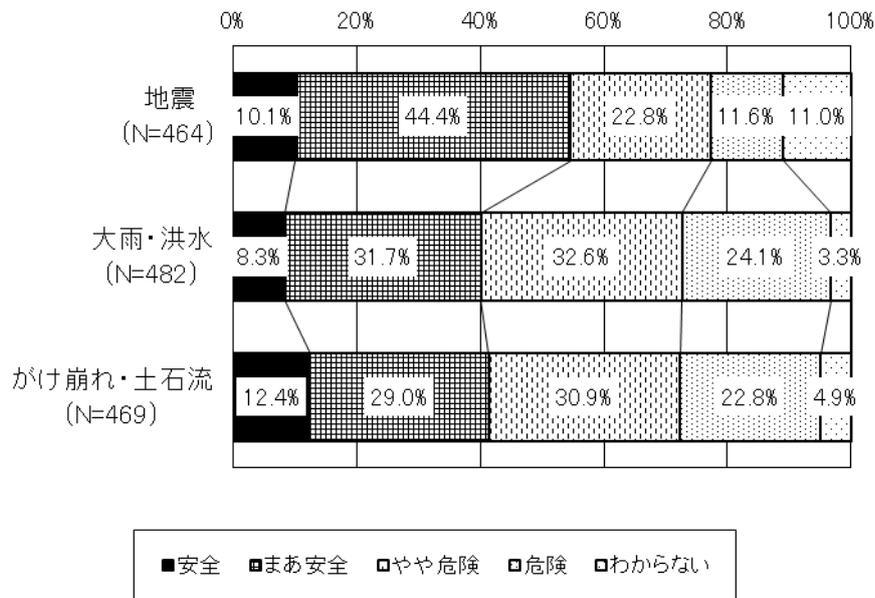


図3 地域の災害リスクに対する認識

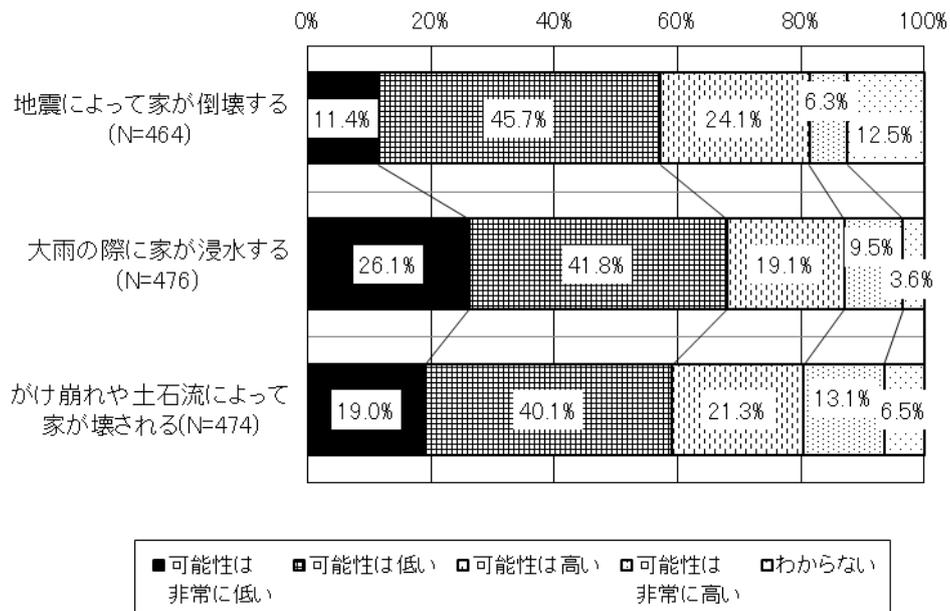


図4 自宅の災害リスクに対する認識

「住田町役場より、「住田町土砂災害・洪水防災地図」(土砂災害が発生する危険がある場所や洪水の影響を受ける可能性がある場所を地図に示したもの・ハザードマップ)が公表されていますが、見たことがありますか。」に対する回答が、図5である。防災マップの存在を認識している(「見たことがある」)率は56.0%であった。

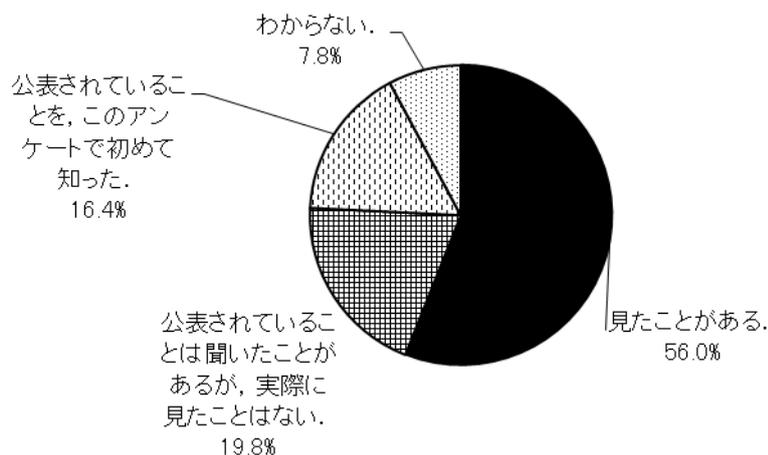


図5 ハザードマップに対する認識 (N=475)

### 3. 3 過去の災害に対する認識

昭和 20 年代，昭和 50 年代にそれぞれまとまった規模の豪雨災害が発生しているが，記憶している回答者は 3 割以下。

住田町では過去にたびたび豪雨災害に見舞われている。住田町史及び岩手県災害被害状況報告書資料から主な被害状況をまとめると表 2 のようになる。

表 2 住田町の過去の主要豪雨災害

発生年月日	災害要因	死者・不明者(人)	全壊等(棟)	半壊等(棟)	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)
S22.9.14	カサリン台風 <sup>1)</sup>	-	-	-	-	-
S23.9.17	アイオン台風 <sup>1)</sup>		11		12	
S54.10.19~20	台風20号 <sup>2)</sup>		2	1	14	33
S56.8.21~23	台風15号 <sup>2)</sup>		1	44	60	38
S63.8.28~31	低気圧 <sup>2)</sup>			1		5
H2.11.4~5	低気圧 <sup>2)</sup>			2	2	13
H10.8.27~31	低気圧 <sup>2)</sup>	1				1
H11.7.12~14	低気圧 <sup>2)</sup>					10
H14.7.9~11	台風6号 <sup>2)</sup>					9

※表中の「-」は、不明を表す。

出典は次の通り。 1) 住田町史， 2) 岩手県災害被害状況報告書

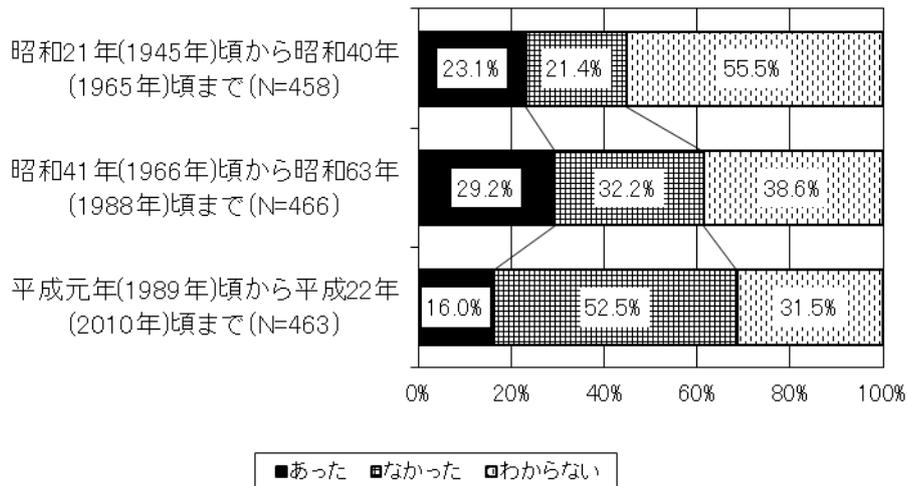


図 6 過去の豪雨災害に対する記憶

過去の豪雨災害の記憶として、昭和 21 年~40 年、昭和 41 年~63 年、平成元年~22 年頃の 3 つの時代について、それぞれ「住田町全体では、これまでに床上浸水家屋が多数発生するような、大雨による災害がありましたか」と尋ねた結果が図 6 である。3 つの時代としたのは、戦後をおおむね 20 年間ずつに分け、それぞれの時代の記憶を尋ねようとしたものである。

実際には、昭和 21 年~40 年、昭和 41 年~63 年の 2 期間ともにまとまった規模の床上浸水を伴う災害が発生しているが、それを記憶しているのはそれぞれ 23.1%、29.2%と多くない。昭和 41 年~63 年については、「なかった」という適切でない回答の方がむしろ多くなっている。平成以降については、床上浸水を生じた事例が存在するが、1 回のみで棟数も 2 棟であり、回答結果は不適切とまでは言えない。

### 3. 4 災害に対する備えの実施率

「備え」としては、避難場所の確認、危険箇所の確認などの実施率が高いが、水の備蓄や家具の固定など実施率が低い。

いくつかの災害に対する「備え」の例を挙げ、それぞれについて「あなたご自身や、あなたのご家庭では、自宅やその付近で、災害に備えた次のような準備をしていますか」と尋ねた結果が図7である。実行している備えのうち、「懐中電灯・ろうそくの用意」が89.3%、「避難場所・避難経路を確認している」が64.9%、「近所に危険な箇所がないか確認している」が56.7%と高い一方、「非常用食料・飲料水の備蓄」は14.0%、「家具類の固定・転倒防止」は17.4%と低いことがわかった。

特に、「家具類の固定」は、地震の際にまず生き残るために重要な「備え」の一つである。災害後の避難行動の準備をしても、生き残れなければそれを生かすことができない。災害時の状況全体をイメージした「備え」の実施が重要である。

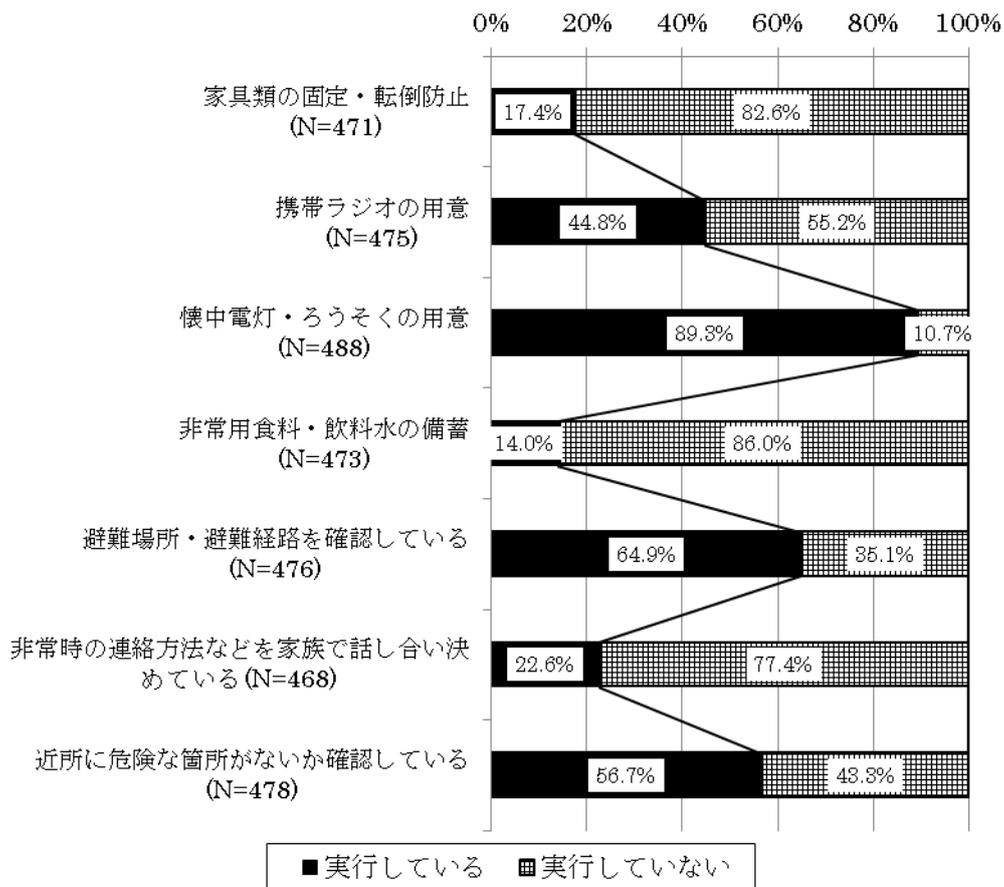


図7 災害への備えの実施状況

### 3. 5 リアルタイム雨量・水位情報に対する認知と利用

リアルタイム雨量情報を実際に参照したことがある回答者は約 2 割. 今後の積極的な利用意向を持つ回答者は 1 割程度. 情報源としては, テレビ及び防災無線の利用意向が多い.

「住田町をはじめ, 全国各地の現在の雨量 (水位) をインターネットや, 携帯電話で見ることができますが, 今までにみたことがありますか」と質問した結果が図 8 である. 雨量については約 20%, 水位については約 10% 程度の回答者が, インターネット, 携帯電話のいずれかから参照している. 一方, 「見ることができることは知っていたが, 見なかった」の回答が雨量の場合 50.7%, 水位では 53.2% あり, 知識はあるが参照したことのない回答者が半数を占めた. リアルタイム情報については, 情報の存在を周知することも重要であるが, 周知しても利用は一部に限られることが示唆されている.

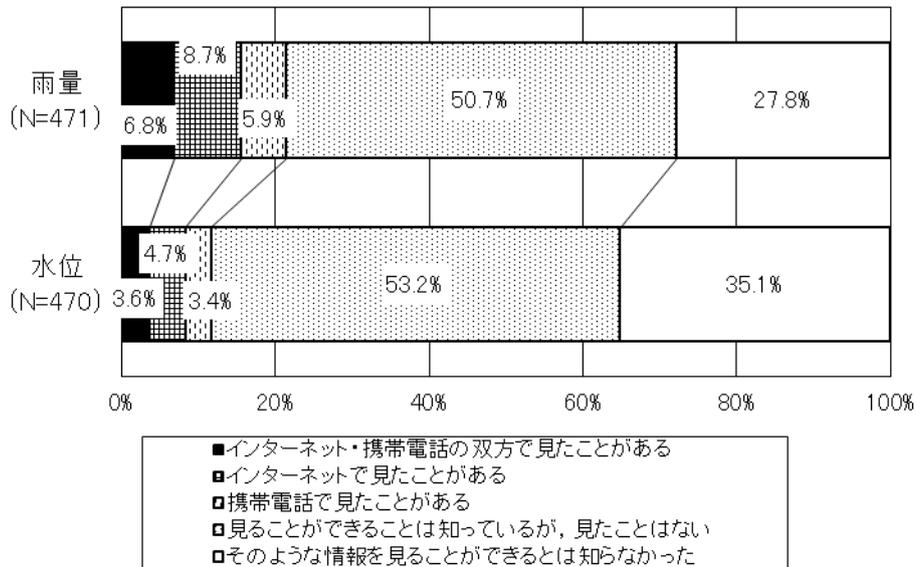


図 8 災害時のリアルタイム雨量・水位情報の利用状況

「今後, 大雨による災害が起こりそうな場合に, 上の設問で触れた現在の雨量や水位に関する情報を, インターネットや携帯電話から見ると思いませんか」と尋ねた結果が図 9 である. 「確実に見ると思う」という強い参照意向は 13.5% であり, 必ずしも高くない. 「見る可能性はあると思う」という弱い利用意向を合わせても 50.0% である. リアルタイム雨量・水位情報を整備し, 周知したとしても, それを災害時に参照し, 避難行動の参考にする人は必ずしも多数にはならない可能性があることが示唆された.

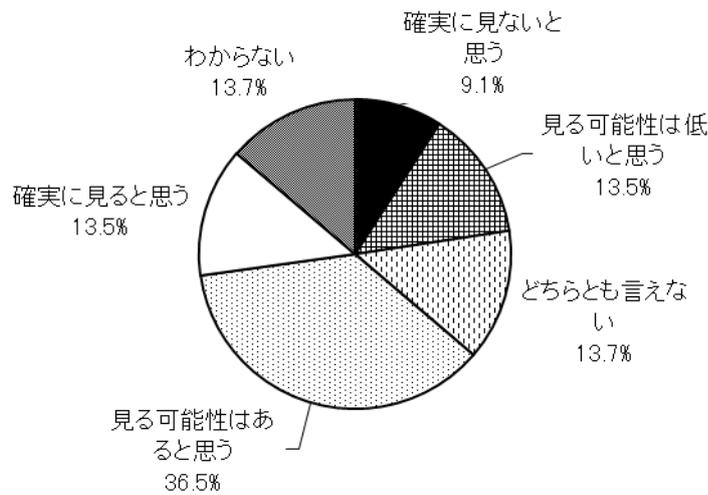


図9 今後の災害時におけるリアルタイム雨量・水位情報の利用意向 (N=474)

「大雨に関する情報や、避難勧告についての情報を知るための情報メディアとして、あなたは何を使うと思いますか。最もよく利用すると思うものを一つ選んでください」と尋ねた回答が図10、「2番目によく利用すると思うものを一つ選んでください」と尋ねた回答が図11である。

最もよく利用するメディアとしては、データ放送を含むテレビが51.3%でほぼ半数を占め、次に行政機関からの放送が38.3%で、その他の選択肢は5%未満であった。2番目によく利用するメディアとしては、行政からの放送が39.6%で最も高く、次にデータ放送を含むテレビが35.4%という回答であった。

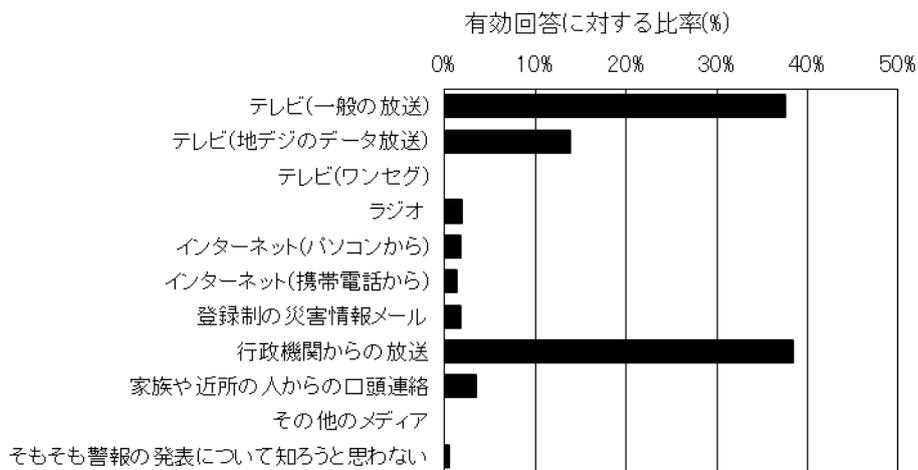


図10 災害情報を入手するため最もよく利用するメディア (N=472)

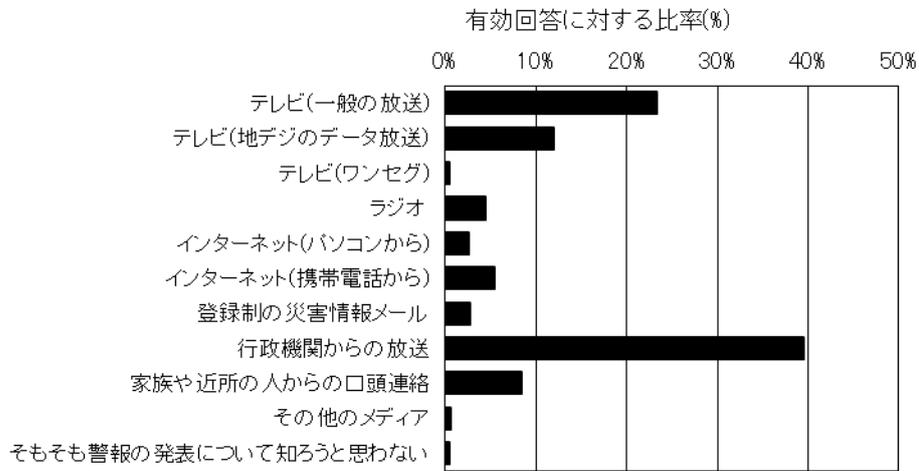


図 11 災害情報を入手するため 2 番目によく利用するメディア (N=475)

### 3. 6 避難に対する考え方

避難勧告が出たらすぐ避難する回答者は約 3 割。避難勧告の「空振り容認派」は 8 割強、避難判断の「行政判断派」は約 7 割。

「ご自宅や、ご自宅付近にいる際に、大雨が降って「避難勧告」が出された場合、あなたは、まずはじめにどのような行動を取ると思いますか」と尋ねた結果が図 12 である。最も多かったのは「付近の様子を見る」で 49.3%、「テレビなどで情報を集める」の 15.1%を加えると、74.4%の回答者が、すぐに避難する前に、別の手段で情報を得ようと考えていることがわかる。

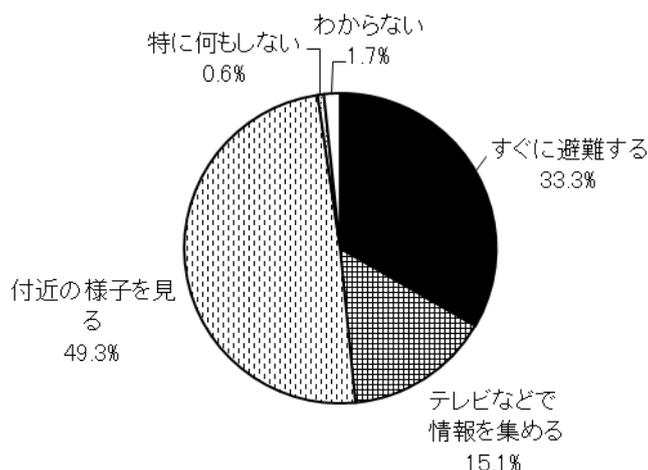


図 12 避難勧告が出された場合の行動 (N=477)

「地域での防災については、いくつか異なった考え方があります。以下ではいくつかの論点について、それぞれ二つの考え方を挙げます。どちらかと言えば、「1」と「2」のどちらかに賛成されますか。どちらか一方をお選び下さい」と説明した上で、2つの対立軸について尋ねた結果が以下である。

災害時の避難勧告や避難指示については、「避難勧告や指示は、「空振り」に終わってもよいから、できるだけ積極的に出すべきである」といういわば「空振り容認積極派」が 84.4%と多数を占め、「避難勧告や指示は、「空振り」が許容されないので、できるだけ慎重に出すべきである」は 15.6%となった。なお、ここで「空振り」とは、「避難勧告等が出されたが、結果的に何も被害が発生しなかった状態」と定義している。

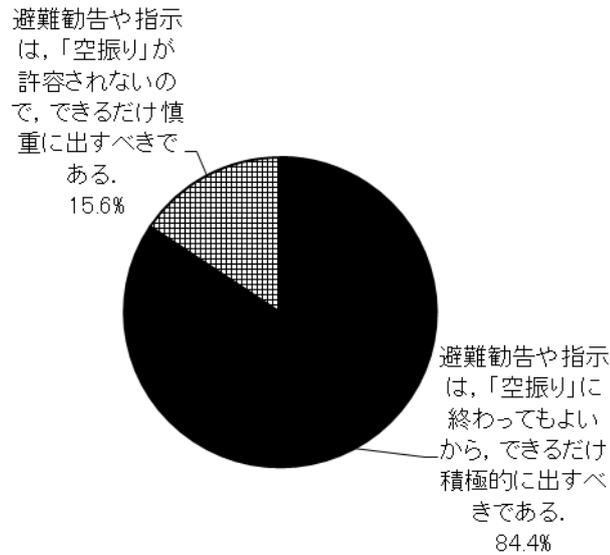


図 13 災害時の避難勧告や避難指示について (N=473)

大雨による災害時に避難を開始するタイミングの判断については、「避難を開始するタイミングを住民が判断することは難しいので、行政が責任をもって判断すべきである」という、いわば「行政判断派」が 68.4%と過半数を占め、「避難を開始するタイミングは、最終的には住民が判断すべきであり、行政の仕事はそれをサポートすることである」は 31.6%であった。

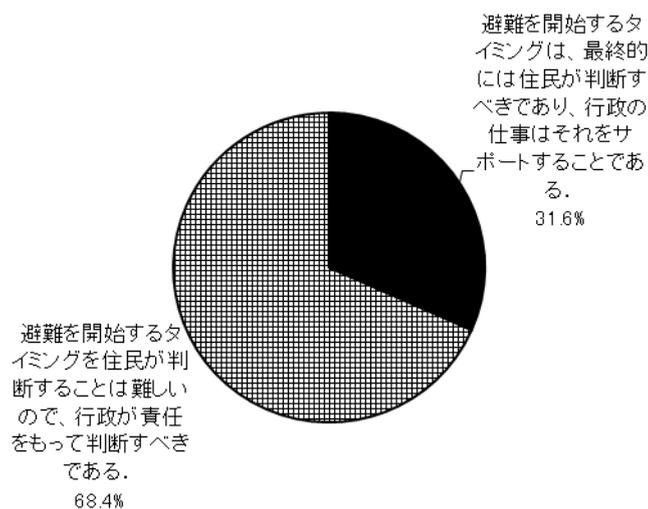


図 14 避難の判断について (N=468)

ハザードマップについては、「ハザードマップは、災害時の備えを考える上で役に立つので、積極的に公開すべきだ」という、いわば「公開積極派」が 95.2%と圧倒的多数を占めており、「ハザードマップが公開されると、地域のイメージが悪くなったり、地価が下がったりするかもしれないので、公開は慎重であるべきだ」は 4.8%にとどまっている。

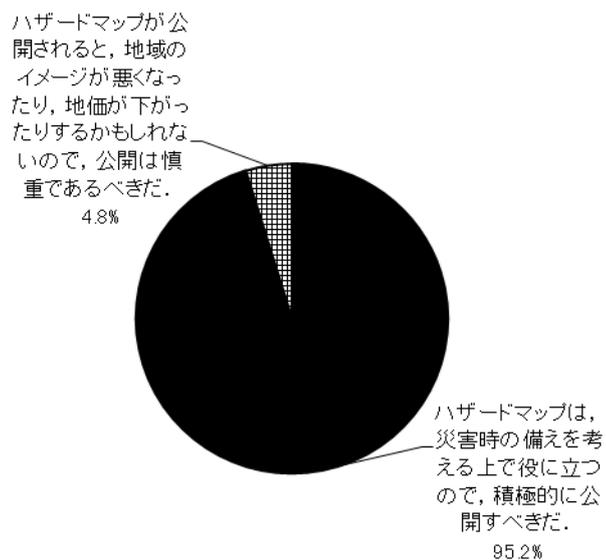


図 15 ハザードマップについて (N=438)

## 謝辞

本調査にご回答いただいたみなさまに感謝します。

現地調査並びに報告書のとりまとめに当たっては、ふじのくに防災フェロー養成講座受講生の杉村晃一さん，静岡大学防災総合センター学術研究員の横幕早季さん，高柳夕芳さん，栗田幸将さんのご協力をいただきました。ここに記して感謝を申し上げます。

## 素集計表

あなたがお住まいの地区は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。

### Q1 地震

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	47	9.5%	10.1%
2	まあ安全	206	41.5%	44.4%
3	やや危険	106	21.4%	22.8%
4	危険	54	10.9%	11.6%
5	わからない	51	10.3%	11.0%
	有効回答合計	464	93.5%	100.0%
	無回答	32	6.5%	
	全体	496	100.0%	

### Q2 大雨・洪水

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	40	8.1%	8.3%
2	まあ安全	153	30.8%	31.7%
3	やや危険	157	31.7%	32.6%
4	危険	116	23.4%	24.1%
5	わからない	16	3.2%	3.3%
	有効回答合計	482	97.2%	100.0%
	無回答	14	2.8%	
	全体	496	100.0%	

### Q3 がけ崩れ・土石流

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	58	11.7%	12.4%
2	まあ安全	136	27.4%	29.0%
3	やや危険	145	29.2%	30.9%
4	危険	107	21.6%	22.8%
5	わからない	23	4.6%	4.9%
	有効回答合計	469	94.6%	100.0%
	無回答	27	5.4%	
	全体	496	100.0%	

では、あなたが現在お住まいのご自宅は、次に挙げるような災害に襲われる可能性があると思いますか。

### Q4 地震によって家が倒壊する

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	可能性は非常に低い	53	10.7%	11.4%
2	可能性は低い	212	42.7%	45.7%
3	可能性は高い	112	22.6%	24.1%
4	可能性は非常に高い	29	5.8%	6.3%
5	わからない	58	11.7%	12.5%
	有効回答合計	464	93.5%	100.0%
	無回答	32	6.5%	
	全体	496	100.0%	

Q5 大雨の際に家が浸水する

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	可能性は非常に低い	124	25.0%	26.1%
2	可能性は低い	199	40.1%	41.8%
3	可能性は高い	91	18.3%	19.1%
4	可能性は非常に高い	45	9.1%	9.5%
5	わからない	17	3.4%	3.6%
	有効回答合計	476	96.0%	100.0%
	無回答	20	4.0%	
	全体	496	100.0%	

Q6 がけ崩れや土石流によって家が壊される

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	可能性は非常に低い	90	18.1%	19.0%
2	可能性は低い	190	38.3%	40.1%
3	可能性は高い	101	20.4%	21.3%
4	可能性は非常に高い	62	12.5%	13.1%
5	わからない	31	6.3%	6.5%
	有効回答合計	474	95.6%	100.0%
	無回答	22	4.4%	
	全体	496	100.0%	

あなたご自身や、あなたのご家庭では、自宅やその付近で、災害に備えた次のような準備をしていますか。

Q7 家具類の固定・転倒防止

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実行している	82	16.5%	17.4%
2	実行していない	389	78.4%	82.6%
	有効回答合計	471	95.0%	100.0%
	無回答	25	5.0%	
	全体	496	100.0%	

Q8 携帯ラジオの用意

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実行している	213	42.9%	44.8%
2	実行していない	262	52.8%	55.2%
	有効回答合計	475	95.8%	100.0%
	無回答	21	4.2%	
	全体	496	100.0%	

Q9 懐中電灯・ろうそくの用意

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実行している	436	87.9%	89.3%
2	実行していない	52	10.5%	10.7%
	有効回答合計	488	98.4%	100.0%
	無回答	8	1.6%	
	全体	496	100.0%	

Q10 非常用食料・飲料水の備蓄

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実行している	66	13.3%	14.0%
2	実行していない	407	82.1%	86.0%
	有効回答合計	473	95.4%	100.0%
	無回答	23	4.6%	
	全体	496	100.0%	

Q11 避難場所・避難経路を確認している

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実行している	309	62.3%	64.9%
2	実行していない	167	33.7%	35.1%
	有効回答合計	476	96.0%	100.0%
	無回答	20	4.0%	
	全体	496	100.0%	

Q12 非常時の連絡方法などを家族で話し合い決めている

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実行している	106	21.4%	22.6%
2	実行していない	362	73.0%	77.4%
	有効回答合計	468	94.4%	100.0%
	無回答	28	5.6%	
	全体	496	100.0%	

Q13 近所に危険な箇所がないか確認している

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実行している	271	54.6%	56.7%
2	実行していない	207	41.7%	43.3%
	有効回答合計	478	96.4%	100.0%
	無回答	18	3.6%	
	全体	496	100.0%	

住田町全体では、これまでに床上浸水家屋が多数発生するような、大雨による災害がありましたか。次の3つの期間について、該当する数字に○をつけてください。

Q14 平成元年(1989年)頃から平成22年(2010年)頃まで

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	あった	74	14.9%	16.0%
2	なかった	243	49.0%	52.5%
3	わからない	146	29.4%	31.5%
	有効回答合計	463	93.3%	100.0%
	無回答	33	6.7%	
	全体	496	100.0%	

Q15 昭和41年(1966年)頃から昭和63年(1988年)頃まで

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	あった	136	27.4%	29.2%
2	なかった	150	30.2%	32.2%
3	わからない	180	36.3%	38.6%
	有効回答合計	466	94.0%	100.0%
	無回答	30	6.0%	
	全体	496	100.0%	

Q16 昭和21年(1945年)頃から昭和40年(1965年)頃まで

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	あった	106	21.4%	23.1%
2	なかった	98	19.8%	21.4%
3	わからない	254	51.2%	55.5%
	有効回答合計	458	92.3%	100.0%
	無回答	38	7.7%	
	全体	496	100.0%	

Q17 住田町役場より、「住田町土砂災害・洪水防災地図」(土砂災害が発生する危険がある場所や洪水の影響を受ける可能性がある場所を地図に示したものの・ハザードマップ)が公表されていますが、見たことがありますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	見たことがある.	266	53.6%	56.0%
2	公表されていることは聞いたことがあるが、実際に見たことはない.	94	19.0%	19.8%
3	公表されていることを、このアンケートで初めて知った.	78	15.7%	16.4%
4	わからない.	37	7.5%	7.8%
	有効回答合計	475	95.8%	100.0%
	無回答	21	4.2%	
	全体	496	100.0%	

Q18 住田町をはじめ、全国各地の現在の雨量(〇〇時現在××観測所で〇〇ミリ、などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今までに見たことがありますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	インターネット・携帯電話の双方で見たことがある	32	6.5%	6.8%
2	インターネットで見たことがある	41	8.3%	8.7%
3	携帯電話で見たことがある	28	5.6%	5.9%
4	見ることができることは知っているが、見たことはない	239	48.2%	50.7%
5	そのような情報を見ることができるとは知らなかった	131	26.4%	27.8%
	有効回答合計	471	95.0%	100.0%
	無回答	25	5.0%	
	全体	496	100.0%	

Q19 住田町をはじめ、全国各地の現在の河川水位(〇〇時現在××観測所で〇〇メートル、警戒水位を超過、などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今までに見たことがありますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	インターネット・携帯電話の双方で見たことがある	17	3.4%	3.6%
2	インターネットで見たことがある	22	4.4%	4.7%
3	携帯電話で見たことがある	16	3.2%	3.4%
4	見ることができることは知っているが、見たことはない	250	50.4%	53.2%
5	そのような情報を見ることができるとは知らなかった	165	33.3%	35.1%
	有効回答合計	470	94.8%	100.0%
	無回答	26	5.2%	
	全体	496	100.0%	

Q20 今後、大雨による災害が起こりそうな場合に、前の設問でも触れた、現在の雨量や水位に関する情報を、インターネットや携帯電話から見るとお考えですか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に見ないと思う	43	8.7%	9.1%
2	見る可能性は低いと思う	64	12.9%	13.5%
3	どちらとも言えない	65	13.1%	13.7%
4	見る可能性はあると思う	173	34.9%	36.5%
5	確実に見ると思う	64	12.9%	13.5%
6	わからない	65	13.1%	13.7%
	有効回答合計	474	95.6%	100.0%
	無回答	22	4.4%	
	全体	496	100.0%	

Q21 大雨に関する情報や、避難勧告についての情報を知るための情報メディアとして、あなたは何を使うと思いますか。最もよく利用すると思うものを一つ選んでください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	テレビ(一般の放送)	177	35.7%	37.5%
2	テレビ(地デジテレビのDボタンを押して視聴するデータ放送)	65	13.1%	13.8%
3	テレビ(ワンセグ)	0	0.0%	0.0%
4	ラジオ	9	1.8%	1.9%
5	インターネット(パソコンから)	8	1.6%	1.7%
6	インターネット(携帯電話から)	6	1.2%	1.3%
7	登録制の災害情報メール	8	1.6%	1.7%
8	行政機関からの放送	181	36.5%	38.3%
9	家族や近所の人からの口頭連絡	16	3.2%	3.4%
10	その他のメディア	0	0.0%	0.0%
11	そもそも警報の発表について知ろうと思わない	2	0.4%	0.4%
	有効回答合計	472	95.2%	100.0%
	無回答	24	4.8%	
	全体	496	100.0%	

Q22 大雨に関する情報や、避難勧告についての情報を知るための情報メディアとして、あなたは何を使うと思いますか。2番目によく利用すると思うものを一つ選んでください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	テレビ(一般の放送)	111	22.4%	23.4%
2	テレビ(地デジテレビのDボタンを押して視聴するデータ放送)	57	11.5%	12.0%
3	テレビ(ワンセグ)	2	0.4%	0.4%
4	ラジオ	21	4.2%	4.4%
5	インターネット(パソコンから)	12	2.4%	2.5%
6	インターネット(携帯電話から)	26	5.2%	5.5%
7	登録制の災害情報メール	13	2.6%	2.7%
8	行政機関からの放送	188	37.9%	39.6%
9	家族や近所の人からの口頭連絡	40	8.1%	8.4%
10	その他のメディア	3	0.6%	0.6%
11	そもそも警報の発表について知ろうと思わない	2	0.4%	0.4%
	有効回答合計	475	95.8%	100.0%
	無回答	21	4.2%	
	全体	496	100.0%	

Q23 ご自宅や、ご自宅付近にいる際に、大雨が降って「避難勧告」が出された場合、あなたは、まずはじめにどのような行動を取ると思いますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	すぐに避難する	159	32.1%	33.3%
2	テレビなどで情報を集める	72	14.5%	15.1%
3	付近の様子を見る	235	47.4%	49.3%
4	特に何もしない	3	0.6%	0.6%
5	わからない	8	1.6%	1.7%
	有効回答合計	477	96.2%	100.0%
	無回答	19	3.8%	
	全体	496	100.0%	

地域での防災については、いくつか異なった考え方があります。以下ではいくつかの論点について、それぞれ二つの考え方を挙げます。どちらかと言えば、「1」と「2」のどちらかに賛成されますか。どちらか一方をお選び下さい。

Q24 避難勧告や避難指示について

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	避難勧告や指示は、「空振り」に終わってもよいから、できるだけ積極的に出すべきである。	399	80.4%	84.4%
2	避難勧告や指示は、「空振り」が許容されないので、できるだけ慎重に出すべきである。	74	14.9%	15.6%
	有効回答合計	473	95.4%	100.0%
	無回答	23	4.6%	
	全体	496	100.0%	

## Q25 避難の判断について

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	避難を開始するタイミングは、最終的には住民が判断すべきであり、行政の事はそれをサポートすることである。	148	29.8%	31.6%
2	避難を開始するタイミングを住民が判断することは難しいので、行政が責任をもって判断すべきである。	320	64.5%	68.4%
	有効回答合計	468	94.4%	100.0%
	無回答	28	5.6%	
	全体	496	100.0%	

## Q26 ハザードマップについて

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	ハザードマップは、災害時の備えを考える上で役に立つので、積極的に公開すべきだ。	417	84.1%	95.2%
2	ハザードマップが公開されると、地域のイメージが悪くなったり、地価が下がったりするかもしれないので、公開は慎重であるべきだ。	21	4.2%	4.8%
	有効回答合計	438	88.3%	100.0%
	無回答	58	11.7%	
	全体	496	100.0%	

## Q28 性別

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	男性	311	62.7%	64.5%
2	女性	171	34.5%	35.5%
	有効回答合計	482	97.2%	100.0%
	無回答	14	2.8%	
	全体	496	100.0%	

## Q29 年代

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	10歳代	1	0.2%	0.2%
2	20歳代	11	2.2%	2.3%
3	30歳代	30	6.0%	6.2%
4	40歳代	52	10.5%	10.8%
5	50歳代	96	19.4%	19.9%
6	60歳代以上	292	58.9%	60.6%
	有効回答合計	482	97.2%	100.0%
	無回答	14	2.8%	
	全体	496	100.0%	

## Q30 現在の住所に住んでからの年数

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	10年以下	52	10.5%	10.8%
2	11～20年	53	10.7%	11.0%
3	21～30年	52	10.5%	10.8%
4	31～40年	66	13.3%	13.7%
5	41～50年	80	16.1%	16.6%
6	51年以上	180	36.3%	37.3%
	有効回答合計	483	97.4%	100.0%
	無回答	13	2.6%	
	全体	496	100.0%	

## Q31 地区

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	(愛宕)世田米駅	40	8.1%	8.6%
2	鉢ヶ森	1	0.2%	0.2%
3	大平	7	1.4%	1.5%
4	小口洞	18	3.6%	3.9%
5	松ヶ平	13	2.6%	2.8%
6	(愛宕)川向	34	6.9%	7.3%
7	大崎	26	5.2%	5.6%
8	(曙)世田米駅	37	7.5%	7.9%
9	火石	36	7.3%	7.7%
10	(曙)川向	25	5.0%	5.4%
11	田畑	6	1.2%	1.3%
12	窪田	12	2.4%	2.6%
13	田谷	14	2.8%	3.0%
14	田の上	3	0.6%	0.6%
15	野形	15	3.0%	3.2%
16	和山	11	2.2%	2.4%
17	(東峰)川向	12	2.4%	2.6%
18	本町	13	2.6%	2.8%
19	中村	6	1.2%	1.3%
20	狐石	2	0.4%	0.4%
21	大通	2	0.4%	0.4%
22	高貝	3	0.6%	0.6%
23	清水沢	15	3.0%	3.2%
24	赤畑	22	4.4%	4.7%
25	小府金	15	3.0%	3.2%
26	川口	7	1.4%	1.5%
27	向川口	25	5.0%	5.4%
28	合地沢	13	2.6%	2.8%
29	大渡	4	0.8%	0.9%
30	天風	7	1.4%	1.5%
31	竹ノ原	15	3.0%	3.2%
32	向竹ノ原		0.0%	0.0%
33	その他	7	1.4%	1.5%
有効回答合計		466	94.0%	100.0%
無回答		30	6.0%	
全体		496	100.0%	

# 大雨災害と防災に関するアンケート

静岡大学防災総合センター牛山研究室・  
岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター・同津付ダム建設事務所・住田町

このアンケートは、住田町の気仙川周辺地域での大雨による災害と防災体制についてお伺いするものです。回答は、あなたの経験やお考えにもとづいて、分かる範囲で記入していただければ結構です。何かを調べて回答する必要はありません。よく分からない質問は、無記入でも構いません。

## 回答の記入例(このページは見本です。回答を記入する必要はありません)

このアンケートには、おもに、「数字に○をつける形の質問」、「用意された答えの中から当てはまる数字を選んで記入していただく質問」の2種類の質問があります。以下の例を参考に、回答してください。

### ●数字に○をつける形の質問の例

今年の気温はいつもより高かったと感じましたか、低かったと感じましたか。それぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。

	とても高かった	高かった	低かった	とても低かった
春(3～5月)	1	2	3	4
夏(6～8月)	1	2	3	4
秋(9～11月)	1	2	3	4
冬(12～2月)	1	2	3	4

1～4の中から、一つの数字に○をつけます。  
この答えの場合、「今年の春の気温は、低かったと感じた」という意味です。

### ●数字を選んで記入する形の質問の例

- 2** あなたの家には、外の気温を測るための温度計がありますか。
1. ある
  2. ない
  3. わからない

黒枠の中に、数字を一つだけ記入します。  
この答えの場合、「私の家には外の温度を測るための温度計はない」という意味です。

次のページから  
アンケートが  
はじまります

**あなたがお住まいの地域の災害についてお伺いします。**

あなたがお住まいの地区は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。

		安全	まあ安全	やや危険	危険	わからない
1	地震	1	2	3	4	5
2	大雨・洪水	1	2	3	4	5
3	がけ崩れ・土石流	1	2	3	4	5

では、あなたが現在お住まいのご自宅は、次に挙げるような災害に襲われる可能性があると思いますか。

		非常に低い可能性	可能性は低い	可能性は高い	非常に高い可能性	わからない
4	地震によって家が倒壊する	1	2	3	4	5
5	大雨の際に家が浸水する	1	2	3	4	5
6	がけ崩れや土石流によって家が壊される	1	2	3	4	5

あなたご自身や、あなたのご家庭では、自宅やその付近で、災害に備えた次のような準備をしていますか。

	実行している	実行していない
7	家具類の固定・転倒防止	1 2
8	携帯ラジオの用意	1 2
9	懐中電灯・ろうそくの用意	1 2
10	非常用食料・飲料水の備蓄	1 2
11	避難場所・避難経路を確認している	1 2
12	非常時の連絡方法などを家族で話し合い決めている	1 2
13	近所に危険な箇所がないか確認している	1 2

住田町全体では、これまでに床上浸水家屋が多数発生するような、大雨による災害がありましたか。次の3つの期間について、該当する数字に○をつけてください。

	あった	なかった	わからない
14	平成元年(1989年)頃から平成22年(2010年)頃まで	1 2 3	
15	昭和41年(1966年)頃から昭和63年(1988年)頃まで	1 2 3	
16	昭和21年(1945年)頃から昭和40年(1965年)頃まで	1 2 3	

※「床上浸水が多数発生」とは、床上まで水に浸かった家が、町内で数軒(2, 3軒くらい)程度にとどまるのではなく、もっと多く発生した場合を指します。

## 災害と情報についてお伺いします。

17

住田町役場より、「住田町土砂災害・洪水防災地図」(土砂災害が発生する危険がある場所や洪水の影響を受ける可能性がある場所を地図に示したもののハザードマップ)が公表されていますが、見たことがありますか。

1. 見たことがある.
2. 公表されていることは聞いたことがあるが、実際に見たことはない.
3. 公表されていることを、このアンケートで初めて知った.
4. わからない.

18

住田町をはじめ、全国各地の現在の雨量(〇〇時現在××観測所で〇〇ミリ、などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今までに見たことがありますか。

1. インターネット・携帯電話の双方で見たことがある
2. インターネットで見たことがある
3. 携帯電話で見たことがある
4. 見ることができることは知っているが、見たことはない
5. そのような情報を見ることができるとは知らなかった

※「岩手県河川情報システム」や国土交通省の「川の防災情報」では、住田町内だけでなく、男火山、六郎峠、上有住、住田の4箇所の雨量を見ることができます。別紙の「参考資料」に表示例を紹介してあります。

19

住田町をはじめ、全国各地の現在の河川水位(〇〇時現在××観測所で〇〇メートル、警戒水位を超過、などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今までに見たことがありますか。

1. インターネット・携帯電話の双方で見たことがある
2. インターネットで見たことがある
3. 携帯電話で見たことがある
4. 見ることができることは知っているが、見たことはない
5. そのような情報を見ることができるとは知らなかった

※「岩手県河川情報システム」や国土交通省の「川の防災情報」では、住田町内の昭和橋(世田米)の水位を見ることができます。別紙の「参考資料」に表示例を紹介してあります。

20

今後、大雨による災害が起こりそうな場合に、前の設問でも触れた、現在の雨量や水位に関する情報を、インターネットや携帯電話から見ると思いませんか。

1. 確実に見ないと思う
2. 見る可能性は低いと思う
3. どちらとも言えない
4. 見る可能性はあると思う
5. 確実に見ると思う
6. わからない

21

大雨に関する情報や、避難勧告についての情報を知るための情報メディアとして、あなたは何を使うと思いませんか。 **最もよく利用すると思うものを一つ**選んでください。

1. テレビ(一般の放送)
2. テレビ(地デジテレビのDボタンを押して視聴するデータ放送)
3. テレビ(ワンセグ)
4. ラジオ
5. インターネット(パソコンから)
6. インターネット(携帯電話から)
7. 登録制の災害情報メール
8. 行政機関からの放送
9. 家族や近所の人からの口頭連絡
10. その他のメディア
11. そもそも警報の発表について知ろうと思わない

22

大雨に関する情報や、避難勧告についての情報を知るための情報メディアとして、あなたは何を使うと思いませんか。 **2番目によく利用すると思うものを一つ**選んでください。

1. テレビ(一般の放送)
2. テレビ(地デジテレビのDボタンを押して視聴するデータ放送)
3. テレビ(ワンセグ)
4. ラジオ
5. インターネット(パソコンから)
6. インターネット(携帯電話から)
7. 登録制の災害情報メール
8. 行政機関からの放送
9. 家族や近所の人からの口頭連絡
10. その他のメディア
11. そもそも警報の発表について知ろうと思わない

## 防災についてのあなたのお考えについてお伺いします。

23

ご自宅や、ご自宅付近にいる際に、大雨が降って「避難勧告」が出された場合、あなたは、まずはじめにどのような行動を取ると思いますか。

1. すぐに避難する
2. テレビなどで情報を集める
3. 付近の様子を見る
4. 特に何もしない
5. わからない

地域での防災については、いくつか異なった考え方があります。以下ではいくつかの論点について、それぞれ二つの考え方を挙げます。どちらかと言えば、「1」と「2」のどちらに賛成されますか。どちらか一方をお選び下さい。

24

### 避難勧告や避難指示について

1. 避難勧告や指示は、「空振り」に終わってもよいから、できるだけ積極的に出すべきである。
2. 避難勧告や指示は、「空振り」が許容されないので、できるだけ慎重に出すべきである。

※「避難勧告」とは、災害時に市町村役場から出される、住民に対して避難を呼びかける情報のことです。ここで「空振り」とは、避難勧告等が出されたが、結果的に何も被害が発生しなかった状態を指します。

25

### 避難の判断について

1. 避難を開始するタイミングは、最終的には住民が判断すべきであり、行政の仕事はそれをサポートすることである。
2. 避難を開始するタイミングを住民が判断することは難しいので、行政が責任をもって判断すべきである。

## ハザードマップについて

1. ハザードマップは、災害時の備えを考える上で役に立つので、積極的に公開すべきだ。
2. ハザードマップが公開されると、地域のイメージが悪くなったり、地価が下がったりするかもしれないので、公開は慎重であるべきだ。

※「ハザードマップ」とは、大雨によって生じる浸水の範囲や規模など、予想される災害の姿を地図上に色や記号などで示した図のことです。

お住まいの地域における大雨による災害について、あなた自身が考えていること、あなた自身や地域が、今後考えなければならないと思うことがあれば、以下にご記入ください。特になければ無記入で構いません。なお、要望や質問といった内容をご記入いただいても、町役場などから回答が得られたり、対策事業に直接反映されたりすることはありません。

次のページが  
最後のページです

最後に、あなたご自身についてお聞きします。差し支えない範囲で結構ですので、回答欄に記入してください。

性別

28

1. 男性

2. 女性

年代

29

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代以上

30

現在の住所に住んでからの年数

1. 10年以下

2. 11～20年

3. 21～30年

4. 31～40年

5. 41～50年

6. 51年以上

地区

31

1. (愛宕)世田米駅

2. 鉢ヶ森

3. 大平

4. 小口洞

5. 松ヶ平

6. (愛宕)川向

7. 大崎

8. (曙)世田米駅

9. 火石

10. (曙)川向

11. 田畑

12. 窪田

13. 田谷

14. 田の上

15. 野形

16. 和山

17. (東峰)川向

18. 本町

19. 中村

20. 狐石

21. 大通

22. 高貝

23. 清水沢

24. 赤畑

25. 小府金

26. 川口

27. 向川口

28. 合地沢

29. 大渡

30. 天風

31. 竹ノ原

32. 向竹ノ原

33. その他

ご自宅のご住所(地名と番地のみご記入ください。お名前の記入は不要です)

32

アンケートは以上です。ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

平成 23 年 2 月

住田町のみなさま

静岡大学防災総合センター牛山研究室  
岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター  
同 津付ダム建設事務所  
住田町

### 大雨災害と防災に関するアンケート調査 ご協力をお願い

現在岩手県及び住田町では、地域の自主防災組織のみなさま方のご参加も得て、「気仙川流域における総合的な治水対策協議会～住田町～」を構成し、気仙川周辺での大雨による災害と防災に関する様々な取り組みを進めております。今後の住田町における治水防災対策を考える上では、様々な角度から防災上の課題を探索、整理することが重要となります。そこで今回、静岡大学防災総合センター牛山研究室では、「気仙川流域における総合的な治水対策協議会～住田町～」と協力し、本地域における防災上の課題を探索する為の調査の一環として、みなさまのお考えを伺うことを目的に、アンケートを企画いたしました。

お忙しい日々をお過ごしと存じますが、差し支えのない範囲で結構でございますので、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

#### ご回答の方法・ご案内

1. この封筒には、(1)このご案内の紙、(2)アンケート本体[全8ページ]、(3)返信用封筒、(4)参考資料、の4種類が入っています。
2. アンケートには、ご家族のうち、調査票の到着時から最も誕生日の近い成人の方がお答えください。
3. お答えいただいたアンケートは、同封いたしました返信用封筒に入れ、郵便物としてポストにご投函ください。ご回答者様のお名前を記入していただく必要はありません。恐れ入りますが、2月25日頃までにご投函いただければ幸いです。
4. 本調査の結果は、町内での報告会、学会等での発表や、ホームページでの公表が行われますが、回答者個人が特定される情報の公表が行われることはありません。
5. このアンケートは、みなさまの貴重な体験を、今後の防災対策に活かすための基礎資料作りを目的としております。従いまして、恐縮ですが、国、県、市町村に対する個別の質問、要望、苦情等を記入されましても、それが行政機関の施策に直接反映されることや、回答が寄せられる事はございません。
6. 封筒やアンケートに押印されている符号は、配布した地区を識別する目的でつけられているものです。
7. 質問・お問合せ等につきましては、下記までご連絡ください。

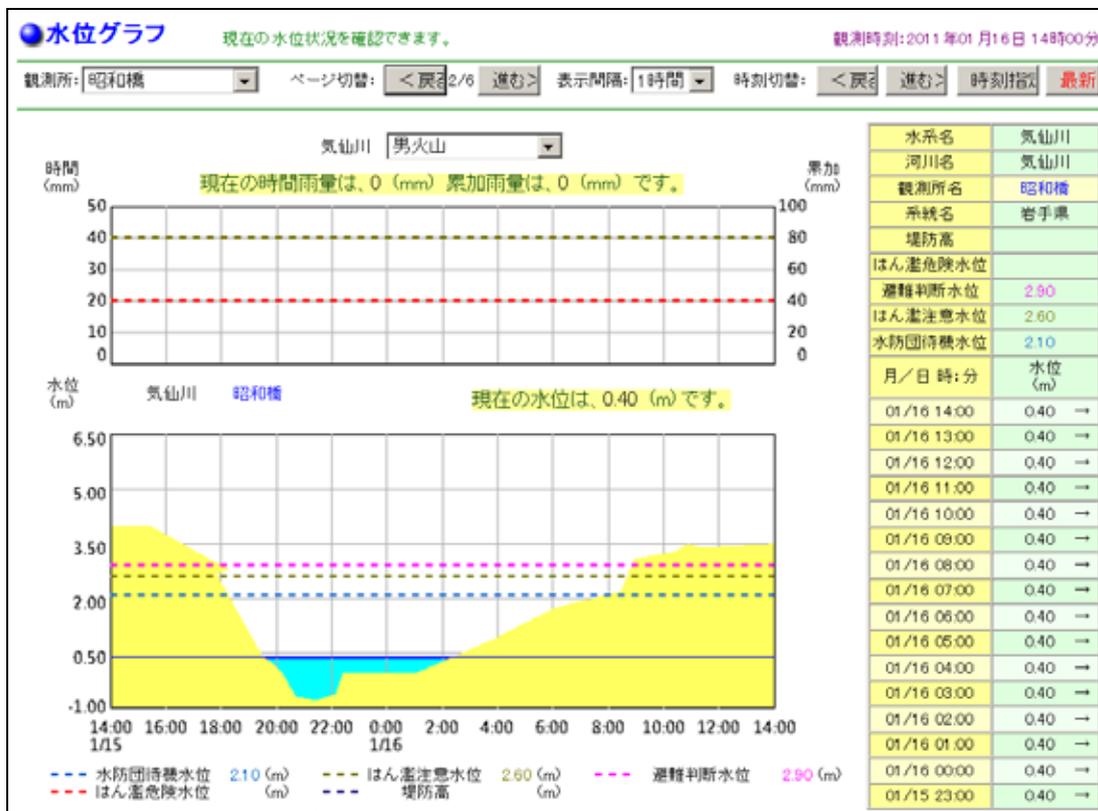
静岡大学防災総合センター牛山研究室 准教授 牛山素行

電話：054-238-4546(研究室) 054-238-4502(事務室)

e-mail : omushiy@ipc.shizuoka.ac.jp

# 参考資料 岩手県河川情報システム

(<http://kasen.pref.iwate.jp/iwate/servlet/Gamen30Servlet>)



岩手県河川情報システム上の昭和三橋水位観測所の観測データ



大雨災害と防災に関するアンケート  
(岩手県住田町)報告書

---

2011年8月30日発行

著者 静岡大学防災総合センター牛山研究室  
岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター  
同津付ダム建設事務所

発行者 静岡大学防災総合センター牛山研究室（准教授 牛山素行）  
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836  
電話&FAX：054-238-4546  
E-mail：ushiyama@disaster-i.net  
URL：http://disaster-i.net/